

【現場除雪事例：H13 北海道 119】

| | |
|--------------|---|
| 除雪工夫分類 | D1:構造物への配慮 / B2:現場機材の活用 |
| 工事種別 | 砂防工事 |
| 工事名称 | 樽前山火山砂防工事の内 錦多峰川 2号遊砂地建設工事 |
| 施工場所 | 北海道苫小牧市字錦岡 |
| 工期 | 平成 13 年 8 月 8 日 ~ 平成 14 年 3 月 15 日 |
| 使用機材 / 機械 | スコップ、ガスバーナー / プルドーザー 7t 車級、バックホウ 0.7m ³ 級、ダンプトラック 10 t |
| 現場除雪の工夫・留意点等 | 構造物近傍では重機による構造物破損を防ぐため、人力による除雪作業を行っている。また、構造物に付着した冰雪等はガスバーナーを使用して融解している。当該地域は、降雪量が少ないため除雪専用の機械は用意せず、現場の本作業で使用する重機を使用して除雪作業を行っている。 |



機械除雪状況

【現場除雪事例：H13 山形県 16】

| | |
|--------------|--|
| 除雪工夫分類 | D1:構造物への配慮 / B4:シートの活用 |
| 工事種別 | 砂防工事 |
| 工事名称 | 玉川護岸 その1工事 |
| 施工場所 | 山形県西置賜郡小国町大字小玉川地先 |
| 工期 | 平成13年9月29日～平成14年3月29日 |
| 使用機材 / 機械 | 除雪用スコップ / バックホウ 0.7m ³ 、ブルドーザー-D2 |
| 現場除雪の工夫・留意点等 | 構造物周りを人力で除雪を行なった後、バックホウで行う。ブルドーザにより、資材運搬路の除雪を行う。法面等はシートで覆い、後の除雪作業が行いやすくする。 |



人力除雪

【現場除雪事例：H13 福島県 11】

| | |
|--------------|--|
| 除雪工夫分類 | F:その他 / A3:除雪範囲の明示 / D1:構造物への配慮 / C1:作業員の安全 |
| 工事種別 | 砂防工事 |
| 工事名称 | 地方特定道路工事 |
| 施工場所 | 福島県田村郡三春町字大町地内 |
| 工期 | 平成 13 年 12 月 27 日 ~ 平成 14 年 3 月 20 日 |
| 使用機材 / 機械 | 雪かきスコップ / 0.25m ³ バックホウ 日立 |
| 現場除雪の工夫・留意点等 | 除雪作業班の編成。ミーティング（作業方法、手順、安全確認）。現場確認（雪に埋もれて見えない道路附属施設等の確認）。除雪構造物近接及び狭隘箇所は人力とし、その他は0.25m ³ バックホウを使用。供用させながらの工事であるため、交通整理員及び監視員を配備する。 |
| | |

【現場除雪事例：H13 北海道 81】

| | |
|--------------|---|
| 除雪工夫分類 | D1:構造物への配慮 / C2:住民・通行者の安全 |
| 工事種別 | 砂防工事 |
| 工事名称 | 豊平川砂防事業の内 野々沢川魚道設置工事 |
| 施工場所 | 北海道札幌市南区藤野2条8丁目～9丁目 |
| 工期 | 平成13年11月17日～平成14年3月15日 |
| 使用機材 / 機械 | バックホウ 0.25m ³ 、タイヤショベル 0.35m ³ 、ダンプトラック 4t |
| 現場除雪の工夫・留意点等 | <p>河川の側道（歩行者専用）を、工事用道路（進入路）として使用しますが、この道路は道幅が3m前後で、両側が民地柵と河川柵があるためミニショベルと4tダンプにより排雪し、札幌市の排雪場所へ処理してます。工事用道路の鉄板敷設後、すべり防止として人力にて鉄板を露出するまで除雪し、融雪剤を散布して、凍結のない状態で使用しております。（融雪剤の使用）生活道路の工事車両搬入路において、道幅の狭い箇所は誘導員を配置し排雪してます。</p> |



生活道路の除雪

【現場除雪事例：H13 新潟県 27】

| | |
|--------------|---|
| 除雪工夫分類 | C1:作業員の安全 / D1:構造物への配慮 / C4:土砂混入軽減・防止 |
| 工事種別 | 砂防工事 |
| 工事名称 | 通常砂防第20-01-02-00号 東野名沢 通常砂防工事 |
| 施工場所 | 新潟県北魚沼郡守門村大字東野名 |
| 工期 | 平成13年8月22日～平成14年3月15日 |
| 使用機材 / 機械 | スコップ、スノーダンプ、梯子、脚立 / バックホウ 0.45m ³ 級、タイヤショベル 1.2m ³ |
| 現場除雪の工夫・留意点等 | <p>本堤天端と切土法面からの雪び落下が考えられるので、早めに雪び処理を行った。一部を除雪して天端及び法頭の位置を確認した後、全体の除雪作業を行なった。一般県道の除雪では、道路付属設備の破損に注意し、工事用道路では資材等に注意しながら作業を行なった。タイヤショベルは滑り止めのチェーンをつけて作業した。梯子及び脚立を立てるときは、下の雪を踏み固め、雪の中に脚を差し込んで固定してから登るように指導した。バックホウ、タイヤショベルでの除雪では、土砂と一緒にすくい取ると始末が悪いので、雪だけの除去につとめた。</p> |



ダム左岸下流雪び処理、堤体雪び処理完了状況

【現場除雪事例：H13 北海道 43】

| | |
|--------------|--|
| 除雪工夫分類 | D1:構造物への配慮 |
| 工事種別 | |
| 工事名称 | 樽前山火山砂防工事の内 錦多峰川2号遊砂地水通部建設工事 |
| 施工場所 | 北海道苫小牧市錦岡 |
| 工期 | 平成13年8月9日～平成14年3月15日 |
| 使用機材/機械 | 除雪スコップ/ブルドーザ D31P-20E 6.8t、バックホウ EX120-5 0.45m ³ 、バックホウ EX120-5 0.7m ³ 、ダンプトラック 10t 車 |
| 現場除雪の工夫・留意点等 | セル内の除雪は、セル矢板が建込みされており、重機でキズ等をつけない様セル矢板付近は作業員が行なう。集積した雪はダンプトラックにてセル外に搬出。極力降雪の部分だけ搬出する為、バックホウのバケツを法面バケツに取り替える。 |



作業員+バックホウ